

# おちばすぎ

学校だより 1月号  
京田辺市立普賢寺小学校  
令和8年1月7日(水)  
1月1日現在 児童数102名

FDGS ~認め合い 進んで学び合う 普賢寺っ子~

## 温かい「えんがわ」と「好奇心の森」がある 学校づくりを進めます

校長 佐々木 みゆき

新しい年が明け、2026年、丙午(ひのえうま)の年が幕を開けました。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことで、心よりお慶び申し上げます。力強く大地を駆け、未来へ向かって躍動する「午」のように、子どもたち一人一人が、自らの可能性を信じて力強く飛躍できる一年となりますよう、心から願っております。

さて年が明け、また静かだった校舎に子どもたちの元気な声とたくさんの笑顔が戻ってきました。子どもたちの弾む声を聞くとぽかぽかとしたエネルギーを感じ、この上ない喜びに包まれます。本日より、いよいよ学年の総仕上げとなる3学期がスタートしました。この学期は、今の学年で学んだことを「自分の力」として確かなものにする「まとめ」の時期であると同時に、次の学年への希望を胸に「心の準備」を整える、とても大切な橋渡しの期間です。私たち教職員も子どもたちの橋渡しをしっかりと支援できたらと考えています。

昨年度から新しい施設に関する構想をお話しています。多くの意見をいただき心より感謝しております。それらのご意見を整理しながら、新しい年の始まりにあたり校長として、今年の大きな学校づくりの方向性を二つ改めて整理しました。

一つ目の方向性は、この普賢寺小学校を、子どもたちにとって、いつでも安心して過ごせる「心の安全基地」にすることです。嬉しいことがあった時はもちろん、少し心が疲れてしまった時、誰もが温かく迎えてくれる学校。まるで昔ながらの日本家屋にある「えんがわ」のように、子どもも、先生も、保護者や地域の方々も、日向ぼっこをするように気軽に集い、語り合い、ほっと一息つける学校。そんな誰もが自分らしくいられる温かい居場所のある学校づくりに、一層力を注いでまいります。

そしてもう一つの方向性は、この学校を、子どもたちの「好奇心の森」にすることです。子どもたちの心の中にある、「なぜ?」「おもしろそう!」という小さな好奇心のタネ。それを見逃さず、仲間と一緒に「あてもない、こうでもない。」と対話を重ねながら大切に水や光を与え、やがては「よし、「やってみよう!」という自分だけの大きな木に育てていく。そんな、わくわくするような「学びの実験室(ラボ)」にできたらと考えています。

子どもたちは、安心して自分らしく過ごせる「心の居場所」があるからこそ、失敗を恐れずに「好奇心の森」へと冒険に出かけることができます。この「静」と「動」の二つの場を大切に育むことこそが、子どもたちの自己肯定感や未来を生き抜く力を支え、学力を底上げしていくと考えています。

「午年」の今年、子どもたちが認め合いながら力強く大地を駆け抜けられるよう、教職員一同心を一つにして、一人一人の歩みを温かく力強く支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬお力添えとご支援を、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年 1月行事予定		授業時間						
日	曜	学校行事	1	2	3	4	5	6
1	木	元旦						
2	金	業務停止日						
3	土	業務停止日						
4	日	業務停止日						
5	月							
6	火							
7	水	短縮4校時 始業式 大掃除	4	4	4	4	4	4
8	木	給食開始 書き初め会①② 生活点検 (~1/15)	5	5	5	6	6	6
9	金	NMday	5	5	5	5	5	5
10	土							
11	日							
12	月	成人の日						
13	火	標準学力調査(国語)	5	5	6	6	6	6
14	水	水曜6校時 委員会 標準学力調査(算数) 書き初め展	5	5	5	5	6	6
15	木	書き初め展	5	5	5	6	6	6
16	金	同志社女子大学アウトリーチ NMday	5	5	5	5	5	5
17	土							
18	日							
19	月	避難訓練(火災・遊放時) ※この週のどこかで実施	5	5	6	6	6	6
20	火		5	5	6	6	6	6
21	水	教育相談日 放課後子ども教室	5	5	5	5	5	5
22	木	クラブ	5	5	5	6	6	6
23	金	NMday	5	5	5	5	5	5
24	土							
25	日							
26	月	教育相談日 給食週間(~30日)	5	5	6	6	6	6
27	火		5	5	6	6	6	6
28	水	全校朝礼(2月) 授業参観⑤ 学級懇談会⑥	5	5	5	5	5	5
29	木	山城郷土資料館出前③④(3年) クラブ(3年生見学)	5	5	6	6	6	6
30	金	NMday	5	5	5	5	5	5
31	土	綴喜青少年主張大会						

## 1月の生活目標 「ありがとうの気持ちを 伝えよう。」

毎日いつもと変わらない生活が、当たり前前にできていることに感謝すること。そして、そこにはたくさんの人たちの支えがあることを振り返り、自分の中にある「ありがとう」の気持ちを、相手にきちんと伝えることの大切さを指導していきます。



## 給食週間

26日(月)~30日(金)は、給食週間です。各学年の食育の学級活動や給食・体育委員会の児童を中心として、全校で給食調理員の皆さんに感謝の気持ちを伝える児童朝礼(給食の集い)「京田辺市リクエスト給食~ぼく達、わたし達のナンバーワン~」と題して、京田辺市内9校の小学生全員が投票して決定した献立が給食週間に提供される予定です。この他にも、食生活についての知識を広げたり、食事についての正しい習慣を身につけたりするために取組を進めます。



## コモンスターコンセプト ~普賢寺みんなの「えんがわ」~

「コモンスター」は、PTCRの皆さんが、日向ぼっこするように気軽に集い、語り合える温かい「えんがわ」のような場所です。教室でも、家庭でもなく、誰もが自分らしくいられる、学校の中心にある「心の安全基地」となることを目指します。

今回は、この「コモンスター」について、PTCRの皆さんからいただいたご意見をいくつか紹介させていただきます。

- ・ふわふわの床 ・靴を脱いでゴロゴロしたい
- ・ぬいぐるみ ・畳を敷いてほしい ・カーペット
- ・ふかふかのクッション ・足つぼマッサージ
- ・植物(観葉植物・季節のお花) ・ソファ
- ・床暖房がほしい ・明るい色の壁やカーテン
- ・プロジェクターを設置して映画鑑賞会 ・足湯
- ・VRゴーグルとリラクステア
- ・学期に1回程度、市役所の出張所
- ・季節に合わせたアロマを焚く ・コーヒーマーカー
- ・保護者サークルでも利用できるような小さい子ども安全に過ごせるスペース
- ・寺子屋(子ども達の学びを地域でサポート)

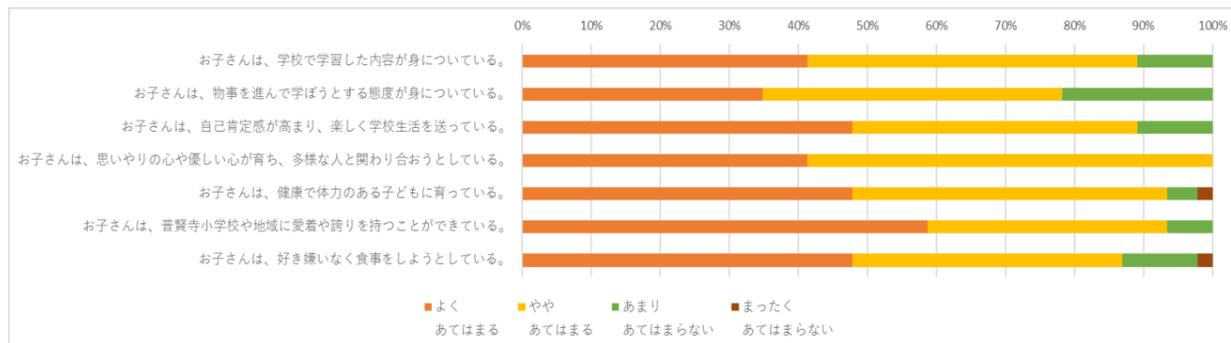
## 5年生 もち米「思いを米ました！」の販売

12月2日(火)に、5年生がにこにこ市で、もみから育てたお米の販売を行いました。買ってもらえるように、チラシを作ったり米袋にイラストやメッセージを描いたり、お客さんをたくさん呼び込むために看板を作成したりと、自分達で工夫をこらしました。地域の方や保護者の皆さん、たくさんの方に買いに来ていただき無事完売することができました。子どもたちの貴重な体験の機会となりました。ありがとうございました。また、種まきから精米までご指導いただいた堀江さん、地域の皆さん本当にお世話になりました。

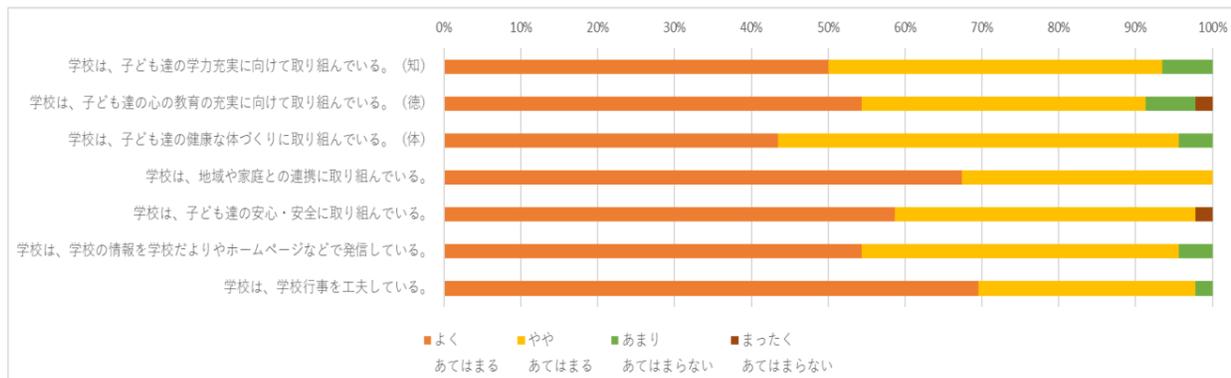


## 学校アンケートの結果について

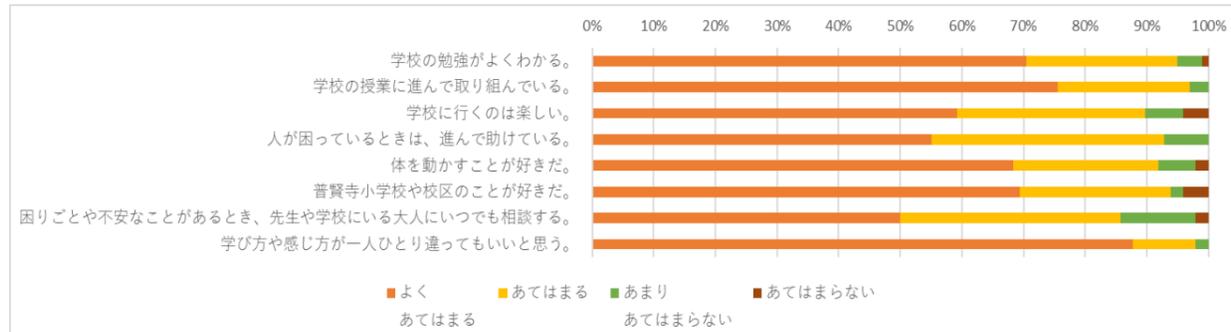
### ◎保護者アンケート【子ども達の姿について】



### ◎保護者アンケート【本校の教育活動について】



### ◎児童アンケート



## ◇令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について◇

令和7年4月に6年生児童を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果について、概要をお知らせいたします。

- 実施内容
  - ①国語・算数・理科の教科に関する調査
  - ②学習習慣や生活状況等について尋ねる児童質問紙調査
- 教科に関する調査結果から
  - (1) 国語科の状況
 

平均正答率は、**全国平均を10.2ポイント上回り、京都府平均を8ポイント上回りました。**学習指導要領の内容で見ると、知識・技能の中の「情報の扱い方に関する言葉の特徴や使い方に関する事項」、思考力・判断力・表現力の中の「書くこと」に課題がみられます。また、問題形式としては、特定の形式に課題が偏っていることはありませんでした。
  - (2) 算数科の状況
 

平均正答率は、**全国平均を1ポイント上回り、京都府平均を1ポイント下回りました。**学習指導要領の内容で見ると、知識・技能の中の「式と計算」、「データの活用」、「図形」に課題がみられます。また、問題形式としては、自分の考えを短い文章で記述する短答式問題に課題がみられました。
  - (3) 理科の状況
 

平均正答率は、**全国平均を5.9ポイント上回り、京都府平均を4.2ポイント上回りました。**学習指導要領の内容で見ると、知識・技能の中の「『エネルギー』を柱とする領域」、思考・判断・表現の「『粒子』を柱とする領域」、「『生命』を柱とする領域」に課題がみられます。また、問題形式としては、特定の形式に課題が偏っていることはありませんでした。
  - (4) 今後の改善策
    - ・ これまでも各教科の学習の中で、「振り返り」を書いていたが、今後はさらに、「与えられた視点に応じた振り返り※」を書く時間を取り入れる。  
(※学習内容、学習のまとめ、わかったことや気づき、次の学習に向けての課題や疑問など。)
    - ・ 各教科の学習の中で、自分の考えを文章で書く活動を取り入れる。
    - ・ 算数科以外の学習の中でも、資料活用を取り入れ、データから数値や傾向を読み取る力をつける。
    - ・ 「一人一人に応じた学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、分かる・楽しい授業を大切に、基礎基本の更なる定着を図る。
    - ・ 学校で学習したことを家庭で確認し、学習内容が定着できるよう、学習の習慣化を図る。
- 質問紙調査の結果から
  - (1) 生活習慣について
 

「毎日、朝食を食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝起きている」等、基本的な生活習慣は身に付いています。
  - (2) 学習習慣について
 

「家庭で1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問では、「学校がある日」では家庭で学習している児童が多いです。一方、「学校が休みの日」では少ない傾向がみられます。
  - (3) 自分自身に関すること
 

「人の役に立つ人間になりたいと思う」「人が困っているときは進んで助けている」では、肯定的な回答が多く、助けあう心が育っていることがうかがえます。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」でも肯定的な回答が多く、気持ちの良い学校生活や友達と友好な関係を築こうとする意識が高いことがうかがえます。「学校に行くのは楽しい」でも、肯定的に捉えている児童が多数で、友達との関係性が良いことがうかがえます。
  - (4) 調査を受けて
 

各ご家庭で基本的な生活習慣が身につくよう心がけていただきありがとうございます。今後とも児童の心身の健康について支えていただきますようよろしくお願いいたします。また、様々な悩みを抱える児童について、傾聴の姿勢を基本として共感的・組織的にサポートしていきたいと思っております。

びより  
ふげんじ日和



第2回目は、勝又靖志(教頭)が担当します。私は、これまでの教師人生の一端をご紹介します。私は普賢寺小学校に来るまでは、京田辺市内では、三山木小学校と松井ヶ丘小学校を行ったり来たりしており、主に大規模校でお世話になっておりました。さらにさかのぼって、京田辺市に赴任する前は、京丹後市で10年間小学校教諭として務めておりました。京丹後市の学校は、現在の普賢寺小学校のように、1学年1学級で、地域の方々とのつながりが強く、子ども達一人一人を全員が知っているという学校でした。私の教師人生の原点といってもよい10年間を京丹後市で過ごすことができました。今でも京丹後市へは、少なくとも年1回は訪れ、卒業生とともに植えた記念樹の成長具合を確認したり、日本海のおいしい魚を食べに行ったり、昔毎日お世話になったスーパー「にしがき」に行ったりと、昔を懐かしみ、心と体をリフレッシュさせています。皆さんも機会があれば、ぜひ京丹後市へ足をお運びください。